

2011 年度 名古屋大学大学院国際開発研究科公開講座 募集要項

主催：名古屋大学大学院国際開発研究科

「世界の中のラテンアメリカ音楽—国際化する音楽の諸相」



およそ 100 年にわたり、国境を越え、世界中で親しまれてきたラテンアメリカ音楽の諸相をジャンル、地域、時代など多様な切り口で考察していく。早くから世界的に流行してきたタンゴやキューバ音楽などが、欧米や日本でどのように受容され、変化していったか、またロック登場以後に生じた新たな国際化の形などについて 4 回に分け考察していく。第 2 回には特別にアストル・ピアソラ・キンテートのメンバーだったアルゼンチン人ピアニストのパブロ・シーグレルを講師に迎え、ピアソラの音楽が持つ国際性について語ってもらう。(西村 秀人)

※各回詳細（各日開催時間は 18：30～20：00）

第 1 回 6 月 9 日<木> 「欧米におけるラテンアメリカ音楽の流入」 講師：西村秀人（名古屋大学）

1910 年代のタンゴに始まり、1960 年代まで世界で流行したラテンアメリカの音楽、またその一方で移民と共に広がっていった音楽についても触れ、多くの音源や映像と共に、その変容・拡大・土着化の初期のプロセスを幅広い視点からまとめていく。



第 2 回 6 月 10 日<金> 「アメリカにおけるタンゴとアストル・ピアソラの音楽」

講師：パブロ・シーグレル（ピアニスト） 通訳：西村秀人（名古屋大学）

アストル・ピアソラ・キンテートの元ピアニストであり、現在はニューヨークで活動続けるパブロ・シーグレルを特別に招き、アストル・ピアソラと共に世界を旅した約 10 年間の軌跡、現在のアメリカにおけるタンゴの状況、ここ 15 年ほど急速に国際的に再評価されたアストル・ピアソラの音楽の国際性について語ってもらう。

第 3 回 6 月 16 日<木> 「日本におけるラテンアメリカ音楽史」 講師：西村秀人（名古屋大学）

初めは欧米を経由し、欧米最新流行として紹介されたラテンアメリカ音楽が、第二次世界大戦後に多様化し、多くの来日アーティストとの交流を経て、本格指向と日本化の双方向へ展開していく、そのプロセスを多くの音源、写真、映像と共に紹介する。戦前のタンゴ、ルンバの流行から戦後のマンボ、チャチャチャ、カリブソ、ボサノヴァに至るまで、その音楽が消費されてきた場にも焦点をあてる。

第 4 回 6 月 17 日<金> 「ロック時代以降の多様な変化」 講師：西村秀人（名古屋大学）

ロック登場以前、ラテンアメリカ音楽は多国籍企業系のレーベルによって加工され、世界的に流行してきた。しかしロック以後、状況は大きく変し、全世界を包み込むような流行は少なくなるが、より個別化したユニークな現象が起こり始める。コロンビアの古いダンス音楽ながら 1960 年代に中南米諸国で流行し、そのまま土着化したクンビア、1970 年代にアメリカ国内のヒスパニックの人々が自己のルーツを寄り合わせた作ったサルサ、1990 年代の世界的なワールドミュージック・ブームで注目された伝説圏カリブの音楽など、より多様化したラテンアメリカ音楽国際化の諸相を考察していく。

開催期間：6月9日（木）、10日（金）、16日（木）、17日（金）
各日18：30～20：00

開催会場：国際開発研究科棟8階 多目的オーディトリウム

募集人数：30名

受講料：6,200円（全4回分、資料代等を含む）

<1回だけのお申し込みは出来ませんのでご了承下さい。>

募集期間：定員に達するまで（申し込み多数の場合は、先着順とします。）

申込方法：郵送に限ります。

※受講を希望される方は、「受講申込書」に、氏名・年齢・住所・電話番号・電子メールアドレス・勤務先・職業を明記の上、受講料(6,200円)分の普通為替（**為替には何も記入しない**）及び返信用封筒（返信先宛名を記入し、80円切手を貼付）を添えて、（簡易）書留郵便でお申し込みください。

なお、書留封筒の表面左下に「**公開講座受講申込**」と朱書願います。

申込先：〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学文系総務課(国際開発研究科担当)宛

募集要項：本要項が必要な方は、本研究科のホームページからダウンロードしてご利用ください。

ホームページ：<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global/social/op-seminar/index.html>

問合せ先：名古屋大学文系総務課(国際開発研究科担当) 村瀬益子

Mail：kai-sou@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

TEL：052-789-4952・4953

個人情報：「受講申込書」に記載される個人情報は、当研究科が開講する公開講座のために必要な業務を行うために利用いたします。それ以外の目的のために利用又は提供することはありません。又、これら保有個人情報の管理や利用は「名古屋大学個人情報保護規程」に基づき適正に取り扱います。

